

せ ん ぼ 通信 No.11

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「花火大会」

300年近く歴史のある、隅田川花火大会…
2011年の夏は、3・11の震災の直後で中止に。
そして、1か月遅れて8月に開催されました。
(計画停電もあり、各地で行事が、自粛又は中止に)
その花火を作る花火師さんは、
「こんな時に花火なんていいのか…」と、悩み…
その苦しみの中で思ったのが花火の原点…、

「昔の花火は、慰霊のためだった」
そう気がついてから、迷いはなくなり、全身全霊
の思いで作ることができたそうです。
その花火は…音楽もない…昔からの花火…

【ドンとあがり、パッとひらいて、スーと消える】
消えた後の静かな暗闇に、大事なものがみえて
くると。見る人の心の風景までかんがえられて。

花火大会は、8代将軍・吉宗がはじまりとされ、
大ききんによって出た犠牲者の供養と、人々の
安寧の祈願祭のあと、花火が上げられたと…。
長い年月後…供養～娯楽へ…娯楽～観光へ
時代とともに変化してきた花火。それでも、
花火師さんの技術・作業が、命がけの危険な仕
事であることは、今も変わらないですね。

今年も、皆さんに良い夏になりますように。

3月の夜、川曲へ行くのに、カーブ
曲がったら、橋のたもとでたき火。
まっくら闇に、まっ赤な炎が…。
足だけ見えて、誰かいる…気持ち
わるい…こわい…ドキドキ…。
途中で駐在さんに電話…応答なし。
前には、テントで寝ていた人もいた。
こんな時どうしたらいいのかな？
後日、駐在さんに話したら、
「そんな時は、110番に電話を」と。
でも、火事になってるわけでもない
し、何か起きているわけでもないし
、110番は大げさな感じも…そして、
逆に注意されそう…。
「イヤイヤ…そんなことないです。
不審者、不審物には、絶対近づかない
で下さい。何を持っているか…
何が入っているかわからないので。
そういう時は、迷わず『110番』を。
近くの警察官に連絡がいきます」。

真夏の夜の悪夢…

「うちのぼす、けんかのつよいぼすとてをくむって」。なんで？
「うちのぼす、なかまのためだって…。あのぼす、とおくまで
いって、けんかしているよ。いっしょにけんかするの？
「それがなかまのためだって…。うちのぼす」。しんじられる？
むかしのおおげんかも、にたようなことってはじめたらしい。
でも、なかまがたくさんころされて、ひどいめにあって、
けんかしないおきてができたのに。これからどうなる？
「おきてむしだから、けんかのまきぞえかな」。やだね…
こんなやまざるのせかい。やまはあれてえさとりもたいへん
、わかいなかまもへってるし、だれが、けんかしにいくのかな。
「けんかでかっても、かならず、あとでしかえしされるからな」。

山ザル(私)のおしゃべり



縞王 郡山卸市場で ￥12000

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2015. 8. 1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@ezweb.ne.jp